



大好き！絵本

初瀬 恵美



『やさいは いきている
そだててみよう やさいのきれはし』

出版社：ひさかたチャイルド

河内のみかんが、黄金色に輝く季節となりました。いつまでも日中は暑い日がつづきますが、実りの秋は確実に訪れていることを知らせてくれています。保育園では11月末に、お家で育てた農海産物を持ち寄り、収穫感謝祭の集いを行います。この集いは、農海産物を育ててくださったお家の方の勤労と、収穫の恵みを与えてくださった神様に感謝する集いです。

そこで今月はその行事にちなんで『やさいは **いきている**』を紹介したいと思います。

収穫感謝祭の集いのときは、保育園で採れたサツマイモのほか、各ご家庭から、持ってきていただいた人参や大根、サトイモ、白菜、ネギ等々を子どもたちと調理して昼食でいただきます。

今まで、そのとき切れ端は捨ててしまっていました。多分、ご家庭のお料理のときも、ほとんど捨ててしまうことが、多いのではないのでしょうか。私自身、切れ端は捨てるもので、「生きている」とかあまり考えずに調理していることが多いです。たまに、ネギの根っこを土に埋めてまた育てたりすることはありますが、とても稀なことです。

例えば、表紙のように人参の切れ端を水につけておくと葉が出たり、ジャガイモの切れ端から芽がでることは多くの方が知っていると思います。育てゆく過程がイメージしやすい食材ですよね。…ですが、キャベツはいかがでしょうか？キャベツのどこをどうするの？と思いませんか。なんと芯を水につけておくと、はっぱがでてきて育つんです。驚きました！（右下の写真）

このように、身近な食材の切れ端を水につけて、どんなふうに育つのかを、分かりやすく写真にまとめた絵本なのです。なんだか、育つ様子をみていると、実際にしてみたいくなる、そして本当に「野菜は生きて**いる**」って思える絵本です。

ぜひ、ご家庭でも試してみてください。育つワクワク感、生命力の不思議など、いろいろな楽しいことがあると、思いますよ。そして、新しく育った部分を食べてみるのもまた面白いと思います。



誕生日おめでとう

